

一般社団法人つながり探究所 2025 年度活動計画

2025 年 5 月 31 日

一般社団法人つながり探究所法人目標

- ・マニュアル整備、業務分担の向上
- ・食を活用した相談支援を行いたい団体への中間支援仕組み構築
- ・手書きで行ってきた集計の Excel データ集計
- ・スタッフの相談支援向上のための育成
- ・新たな担い手の確保
- ・地域で暮らす高齢者への福祉サービス立ち上げ検討

(1) 採択助成内容

- ・ハッピーリングチャリティ（マルト水谷）10 万円
- ・令和 7 年度つながりをたやさない社会づくり助成（愛知県共同募金会）30 万円
- ・令和 7 年度前期いきいきふれあいサロン助成（守山区社会福祉協議会）2 万 4 千円

(2) 各事業計画

- ・**継続** 子ども食堂「つな食堂」 月に 1 回を目標

始業式終業式と合わせて、長期休み期間には、お昼ごはん提供（水・木・金）を開催。その他に、中高生対象や小さい子向けの子ども食堂を年間 2 回ずつ開催する。夏休みに、流しそうめんを開催。月に 1 回程度おかず配布か会食形式で開催。

- ・**継続** つなしょ（放課後の居場所） 週 3 日 14:00～17:00

子どもたちが放課後に待ち合わせをして遊ぶ光景が定着している。今年度も週 3 日開催を計画。夏休みや長期休暇の際には、子どもたちの居場所として運営。不登校や、学校や家庭で悩みを抱えている子を開設日は受け入れていく。小さな子どもへのルールは、保護者同士で決めてもらう機会を作り、近隣住民の迷惑にならないように取り組んでいく。

・**継続** おもちゃ図書館「つなとしょ」 月1回 10:00~12:00

月に1度の志段味図書館での開催を実施。名古屋市おもちゃ図書館連絡協議会に加盟しているため、おもちゃ図書館同士の交流や情報交換の機会に参加する機会を増やしていく。新しいスタッフの確保をして、担い手育成を行う。

・**継続** フードパントリー「食べ物おすそ分けの会」 週3日 10:00~17:00

常設パントリーの仕組みが定着して、受け取る方のマナーも良くなった。会員数100人を目標に取り組んでいきたい。会員更新の際に、一人ずつ生活状況を聞き取り、受け取る方のニーズ把握を行う。他区の方へ、食材届ける支え合いの仕組みを、行政機関や重層的相談支援体制整備事業や、相談支援事業所などの関係機関を連携して取り組んでいく。倉庫の借用期限は今年度以内のため、移転先を守山区社会福祉協議会と相談して決めていく。

・**継続** 生活困窮者、外国人支援 週3日 10:00~17:00

個別の相談が増えているが、各区の重層的相談支援事業とともに連携事例も増えているため、必要に応じてケース検討会議を開催してもらうように提案していく。本地住宅へは、継続して食材を提供する。しかし、自立した運営は不可能ということもあり、今後は中間支援として運営のサポートを行う。

外国人支援については、これまでつながっている世帯への継続した支援を行い、他団体で外国人を対象とした支援を行っている団体へ食材の支援等を行っていく。

・**再開** 小幡緑地冒険遊び場（プレーパーク）第2, 4木曜日 15:00~17:00

公園の整備工事や新型コロナウイルス等などから、安全を考慮し休止していたが、公園整備完了に伴い今年度から、冒険遊び場を小幡緑地管理事務所との共催により、月に2回の開催から始める。今年度中に週1回の開催を目指す。アジア大会準備もあり、芝生広場の制限はあるものの、活動の場所を考慮しつつ冒険遊び場を通して、子どもたちが自由に遊べる場所を作りたい。夏には、年中行事だった流しそうめんを復活させたい。

・ **拡充** つなしょ喫茶 週3日 10:00~13:00

高齢者一人暮らしや、孤独を感じた方の居場所や交流の機会を作るために、ドリンクとランチを提供する。また、つなしょで調理した料理を持ち帰りで提供。希望者には、スタッフが自宅まで届ける。共食の機会を作り、普段からの関係性を構築して、高齢者の介護予防との連携を図る。いきいき支援センターや民生委員と協力して、地域で安心して暮らすことができるように、情報交換を図り関係機関につなげていく。

・ **継続** 小幡緑地まつり 2025年11月22日(土)(雨天中止)

毎年恒例になっている小幡緑地まつり、今年度も実行委員方式で運営し、実行委員の1団体として活動、チラシデザインや運営計画を担当。小幡緑地魅力向上委員会の一員としても、ブース出展を計画。今年度は、復活した冒険遊び場(プレーパーク)のPRの機会として、冒険遊び場を開催したいと考えている。

・ **その他**

世代を問わず、入会を希望する方が増えている。また、協力したいという意向を示す人が増えている。入会説明は対面で面談をしながら丁寧につながり探究所のビジョンを説明し、会員への担い手協力の依頼を増やしていく。運営には、マンパワーが必要であるため、それぞれのできることを持ち寄り、支え合いの仕組み作りを作り、地域で共に育ちあう環境作りを行っていきたい。また、法人運営を継続させるには、資金の確保は必須である。収益事業を行うには、今の活動内容から発展した内容でなければならない。一人暮らし高齢者がつなしょへ来て、不安の声を話すことが増えている。生活を支えるサービスの立ち上げ検討を行い、地域で安心して生活できる環境作りを目指す。